

第 2332 圖

たこいも科

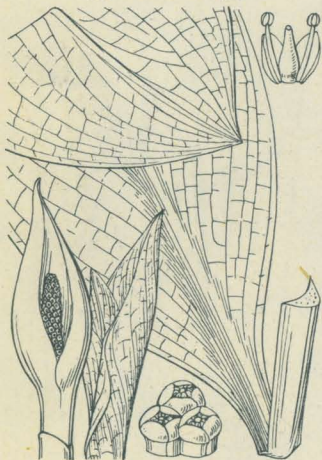


こんにゃく (蒟蒻) 古名 こにゃく  
Amorphophalus Konjac K. Koch.

(=Conophallus Konjac Schott;  
A. Rivieri Durieu var. Konjac Engl.)  
交趾支那ノ原産ナレドモ支那ヲ經テ往時我邦ニ渡來  
シ今ハ廣ク畑地ニ栽培スル多年生草本。球莖(所謂こ  
んにゃくだま)ハ巨大ニシテ平圓形、徑丈々25cmヲ超  
エ地中ノ側枝ヲ引テ仔球莖ヲ生シ繁殖ス。葉ハ球莖  
頂部中央ヨリ出デ高く直立セル葉柄端ニ展開シ、葉  
柄ハ多肉圓柱形ニシテ高さ20-50cm許、淡綠色濁紫斑  
アリ。葉面ハ三全裂シ、側者ハ更ニ全裂シ、裂片ハ羽  
狀全裂、軸部ニハ不齊ノ翼アリ、小裂片ハ卵狀披針形  
長サ4-8cm、銳尖頭、楔形底ニシテ一側ハ軸部ノ翼ニ  
流下シ、綠色無毛柔軟ナリ。春日老球莖頭ヨリ粗大ナル  
葎ヲ抽クコト1mニ近ク、基部ニ二三ノ鐘狀鱗片アリ、  
頂ニ大ナル一花序ヲ着ケ、狀フベキ惡臭アリ。佛焰  
苞ハ廣卵形ニシテ漏斗狀筒形ヲ呈シ暗紫色、背ニ少シク  
線采ヲ帯ビ、長サ30cm許アリテ邊緣微曲ス。肉穗  
花部ハ淡黃白色ニシテ苞筒内ニ潛在シ下部ニ紅紫色  
采アル多數細小ノ雌花、之レニ接シテ上部ニ無數小  
ノ褐色雄花ヲ密ニ着ケ、巨大ナル管紫色ノ附節棒ハ高  
ク苞ヲ抽テ立テ異觀ヲ呈ス。漿果ハ球形或ハ扁球形ニ  
シテ放大セル圓柱形ノ果臈ニ多數密ニ排ビ着キ、熟ス  
レバ黃赤色ヲ呈ス。球莖ヨリこんにゃく(蒟蒻)ヲ製シ、  
食用竝ニ工藝用ニ供ス。和名ハ蒟蒻ノ字音轉化ナリ。

第 2333 圖

たこいも科



みづぼせう  
Lysichiton camtschatense Schott  
var. japonicum Makino. (=Arctio-  
dracon japonicum A. Gray; L. japonicum  
Schott; L. camtschatense Schott var. album.)

本邦中部以北ノ濕原ニ生ズル無莖ノ多年生草本ニシテ  
群落ヲ成シテ繁茂ス。地下ニ根莖アリ、粗大ニシテ  
横臥ス。春日雪融ル直後忽チ一花序ヲ出ダスコト高さ  
20cm許、柄ヲ有シ上部ハ卵狀橢圓形ニシテ尖レル雪  
白色佛焰苞ニ包マレテ立チ、甚ダ明朗ニシテ美ナリ。  
花ハ細小多數ニシテ棒狀ノ花軸上ニ密集シ、淡綠色ヲ  
呈シ、兩性花ニシテ花蓋ハ四片、雄蕊ハ四本アリテ白  
花絲竝ニ黃葯ヲ具ヘ、一雌蕊アリテ子房ハ卵形ヲ呈シ  
短花柱ハ圓錐形ヲ成ス。葉ハ花了リテ花序ノ側方ヨリ  
伸長シ、大ナルハ長サ1mニ達シ、長橢圓形或ハ長橢圓  
狀披針形ニシテ淡綠色全邊、上部ハ鈍圓、先端僅ニ尖  
リ底部ハ銳形ヲ呈シ、質甚ダ軟ク、葉柄ハ葉片ヨリ短  
シ。果臈長ゼシ時佛焰苞ハ既ニ之レ無シ。果實ハ二種  
子アル漿果ニシテ多肉トナレル花軸内ニ陷在ス。此種  
ノ母品ハ其佛焰苞黃色ヲ呈スル日本ニシテ之レヲ見ズ。  
和名ハ水芭蕉ノ意、本種水濕地ニ生ジ其葉大ニシテは  
せう葉ノ如ケレバスク名ク。漢名 觀音蓮(誤用)

第 2334 圖

たこいも科

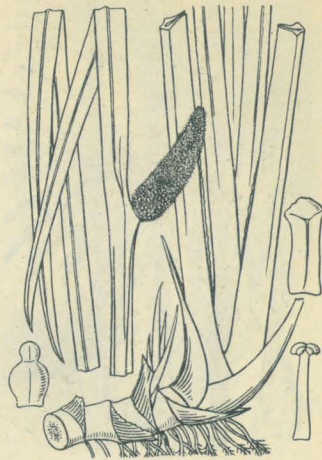


ざぜんさう 一名 だるまさう・べこのした  
Spathyema foetida Raf.  
forma latissima Makino.

(=Symlocarpus foetidus Nutt.  
forma latissimus Makino.)  
我邦中部北部諸州ノ溪間陸地ニ生ズル無莖ノ多年生草本ニシ  
テ時ニ大群落ヲ形成シ或ハ個々ニ生ジ、全草惡臭ヲ放シ、根莖  
ハ短厚ニシテ直立シ多數ノ根狀根ヲ發出ス。葉ハ根出ニシテ  
叢生シ、闊大ニシテ長柄アリ、廣闊心臟形ニシテ長サ30-40cm  
内外、銳尖頭深耳狀底、支脈彎曲シ脈理上面ニ凹入シ裏面ニ隆  
起ス。四月、葉ノ開閉ニ先チテ未解葉束ノ一葉一花序ヲ地  
上ニ出ダシ、下ニ鐘狀鱗片アリテ之レヲ擁セリ。佛焰苞ハ厚質  
ニシテ一方開口セル卵狀球形ヲ成シ紫黑色ヲ呈シ、或ハ紫斑  
品(うづらざぜんさう f. maculatospathus Makino) 或ハ紫斑  
色品(あをざぜんさう f. viridispathus Makino)アリ、内部  
ノ下底ヨリ短柄アル橢圓體ノ肉穗花軸ヲ立テ多花ヲ密着シ、  
花ハ兩性、花蓋四片ハ淡紫色、密ニ排ビシテ鐘狀甲殼ヲ呈シ、  
四雄蕊ニシテ黃葯、一雌蕊ニシテ子房ハ卵形、果臈ハ球形ニシ  
テ地上ニ横ヘリ、漿果ハ初夏既ニ熟シテ散落ス。一種ハめざぜ  
んさう(S. nipponicus Makino)ハ遙ニ小形、葉ハ橢圓形ニ  
シテ稍地ニ布キ、早春萌發、五月既ニ枯レ、同時ニ一花序ヲ  
側出、果實ハ冬ノ後ギテ初夏ノ開花期ニ入りテ始メテ熟ス  
以テ花實ヲ同時ニ見ル。此種比較的シケレドモ亦各地ニ生ジ  
其分布ハ東北地ヨリ西ハ中國ニ及ベリ。和名ハ坐禪草ノ意  
ニテ其花臈ノ狀、宛モ僧ガ坐禪セル狀ニ似タルヲ以テシケ、達磨  
草モ坐禪草ト同題ノ名、べこのしたハ牛ノ舌ノ意ニシテ其葉  
狀ニ基キシ稱ナリ。漢名 地湧金蓮(誤用)

第 2335 圖

たこいも科

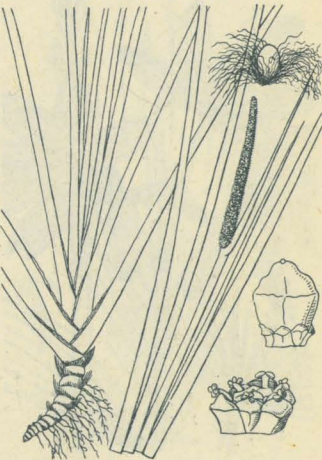


しゃうぶ (白菖)  
古名 あやめ・あやめぐさ・のきあやめ  
Acorus Calamus L.  
var. asiaticus Pers.

(=A. asiaticus Nakai; A. spurius Schott;  
A. Calamus L. var. spurius Engl.;  
A. Calamus L. var. angustatus Bess.)  
池邊溝畔ニ生ズル多年生草本ニシテ群ヲ成シテ繁茂  
ス。根莖ハ粗大ニシテ長ク横走シ、多肉白色ニシテ往  
々紅色ヲ帯ビ節多ク、下ニ鬚根ヲ發出ス。葉ハ根莖頭  
ニ直立叢生シテ高さ70cm内外、幅1-2cm許、長劍形ヲ  
呈シテ漸尖シ脚部ハ互ニ抱テ跨リ成シ、外縁ニ近ク  
厚ミアル劍脊ヲ有シ、綠色多肉滑澤、芳香強シ。花莖  
ハ葉ニ似テ稍細ク、初夏ニ入りテ其中邊ニ無柄ノ肉穗  
花序ヲ側出シ斜ニ開出シ、長サ5cm内外ノ粗大圓柱狀  
ヲ成シテ淡黃綠色ヲ呈シ密ニ細花ヲ花軸面ニ着ク。花  
ハ兩性、花蓋六片ハ廣線狀長方形鈍頭、六雄蕊微シク  
超出シ花絲白色、黃葯、雌蕊ハ一、子房ハ圓狀橢圓形、  
頭狀ノ柱頭アリ。藥用ニ供シ、又端午ノ節句ニ使用ス。  
和名ハ菖蒲ニ基キシ者ナレドモ元來菖蒲ハせきしゃ  
うノ漢名ナリ、あやめ又ハあやめ草ハ蓋シ文理ノ意  
ニシテ其葉多數相竝ニ叢生シ文目ヲ成スヨリ斯ク謂  
ヒシナラン、又葉ニ縱理並行セル故云フトモ謂ヘド如  
何、簪あやめハ簪ニ挿ムヨリ云フ。漢名 菖蒲(誤用)

第 2336 圖

たこいも科



せきしゃう (菖蒲)  
Acorus gramineus Soland.

谿流ノ邊ニ多ク生ズル多年生常綠草本ニシテ多クハ群ヲ成シ  
テ繁茂シ、又往々人家庭際ニ栽培シ從テ大小種々ノ園藝品種  
ヲモ生ズルニ至レリ。根莖ハ質硬クシテ横臥シ下ニ鬚根ヲ出  
シ狭瘦ニシテ香氣ニ富ミ、地中ニ入ル者ハ節間稍長クシテ白  
色ナレドモ露出セル者ハ節間逼促シ節多ク且汚綠色ヲ呈セ  
リ。葉ハ根莖端ヨリ出デ叢生シ跨リ成シ、線形ニシテ長  
サ20-50cm、全邊ニシテ先端尖リ、暗綠色ニシテ質強韌滑澤ナ  
リ。四五月ノ候葉中ニ綠色葉狀ノ一莖ヲ出シ頂ニ淡黃色ノ細  
長ナル肉穗花序ヲ着ケ、上部ノ苞葉ハ瘦長尖銳綠色ノ葉狀  
ニシテ花臈ト稍同長ナリ。花ハ小形ニシテ密ニ軸端ニ着キ、花  
蓋六片短クシテ、外花蓋三片ハ略ボ扁三角形、内花蓋三片ハ  
之レヨリ小ニシテ略ボ方形、共ニ圓頭ナリ。雄蕊ハ六、花絲  
闊ク一胞ノ黃葯アリ。子房ハ低六角狀ノ山形ヲ呈ス。花後蒴  
果ヲ結ブ。綠色ニシテ卵圓形ヲ呈シニ宿存花蓋ヲ伴ヒ、種子  
ノ基部ニ多毛ヲ具フ。葉ニ綠白縱斑ヲ呈スルマダまむねざき  
しゃう(f. viridialbus Makino)ト云ヒ、矮小ノ者ヲありすが  
はぜきしゃう(var. pusillus Engl.=A. pusillus Sieb.)ト  
稱シ、尙小ナルヲかうらひざきしゃう(var. Koorai Makino)  
及ビびらうどざきしゃう(var. Biroodo Makino)ト云ヒ多  
ク益藻ス。本種ハ其根莖ヲ藥用トス。和名ハ石菖ニ基キ、石菖  
ハ石菖蒲ト同題ニシテ畢竟共ニ菖蒲ノ異名ナリ、此漢名ノ菖  
蒲ハ元來本種ヲ指セシモノニテ所謂しゃう・ふ其者ニ非ズ。

第 2337 圖

やし科



しゅろ  
一名 わじゅろ 古名 すろ・すろのき  
Trachycarpus excelsa Wendl.  
(=Chamaerops excelsa Thunb.)

元來ハ南九州ノ原産ナレド今日ハ原ヨリノ野生ハ無ク(今野  
生狀態ノ者ハ栽植品ノ逸出セシモノ)廣ク各處ニ栽植セラ  
ル常綠喬木。桿ハ粗大ニシテ無枝直聳シ、高さ3-5m許、殘存  
セル舊葉鞘ノ暗褐色多數纖維ヲ以テ蔽ハル。葉ハ桿頂ニ叢出  
シテ傘蓋狀ニ平開シ舊キ者ハ傾下シ長柄大ナリ。柄ハ堅硬強  
健、内面平坦、兩緣淺フ成シ下部ハ小齒ヲ伴ヒ、長キハ1mニ  
達シ、基部部ハ大ナル鞘ヲ成シテ莖ヲ抱キ纖維多シ。葉面ハ  
圓形扇狀ニ深裂シ、裂片更ニ三四ノ小裂片ニ分裂シ、廣線形  
ニシテ幅1.5cm内外、革質暗綠滑澤、先端僅ニ淺クニ裂シ、  
通縁縱ニ雙溝ヲ成シテ疊マシ、中脈ハ下面ニ隆起シ、邊縁平  
滑、上半往々下垂ス。雌雄異株。初夏、葉間ニ大形ノ肉穗花序  
ヲ側出シテ下向シ、花序ハ下部ニ大形ノ黃色鞘狀苞アリ、密  
魚卵狀ノ黃白色粒狀ノ細花ヲ無數ニ開ク。花蓋六片、雄花ニハ  
雄蕊六、雌花ニハ一雌蕊アリテ子房一、花柱ハ三岐シ本ニ細毛  
アリ。果實ハ臈上ニ群着シ半球形ニシテ堅硬、徑1cm許、熟シ  
テ帶黃色。和名しゅろハ櫻蘭ノ字音ヨリ來リ、すろ亦同ジ、  
和じゅろハ唐じゅろニ對シテ云フ。漢名 櫻蘭・棕櫚(誤用)。  
一種たらじゅろ(var. Fortunei Makino = Chamaerops  
Fortunei Hook.; T. Fortunei Wendl.)アリ、支那原産ニシ  
テ普通庭園ニ栽植ス、しゅろニ似テ葉短形、質甚ダ強剛、爲  
ニ裂片直立シテ下垂セズ、漢名櫻蘭ノ本品ハ是レナリ。